（公表様式）

上士幌町出資法人等経営状況報告書（令和４年度分）

１　法人等の概要

名　　称	株式会社　ｋａｒｃｈ	所　在　地	〒080-1408 北海道河東郡上士幌町字上士幌東３線227番地１
代　表　者　名	代表取締役　千葉　与四郎	設立年月日	平成30年５月28日
事　業　内　容	道の駅・ナイタイテラスの管理運営事業、電力小売事業、イベント企画運営事業、旅行代理業、観光地域づくりを目的としたＤＭＯ事業など	管理施設の契約形態	指定管理
資　本　金 町出資額（割合）	８，４００千円 ５，０００千円（５９．５%）	役職員等 ※（ ）	役員数　　６人（１） 職員数　４２人（５） 〈令和５年６月１日現在〉
そ　の　他	℡(01564) 7 - 7777 ホームページアドレス　http://karch.jp メールアドレス　Mail:michinoeki-info@karch.jp		
管　理　施　設 （所有区分）	道の駅「かみしほろ」（指定管理） ナイタイテラス（指定管理）		

※（ ）は、うち町派遣者数（地域おこし協力隊含む）を示します。役員数のうち町派遣者は副町長を示します。

２　上士幌町による点検評価

経営状況についての予備的診断における評価	A	A：経営努力は行いつつ事業は継続 B：事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要 C：深刻な経営難の状況であり、経営の観点から事業の存続を含めた検討が必要

①事業は適切であるか （町の負担額以上に効果が上がっているか）	B	A：適正 B：改善が必要 C：不適正	ＤＭＯ事業を推進する協議体が設立されたが、引き続き地域の合意形成のもと、目に見える形の事業展開に向けた努力が必要。
②赤字を圧縮するために効率経営の自助努力を十分行っているか （維持管理経費の節減、収入増につながる経営など効率経営を十分行っているか）	A		効率的な業務推進と経費削減、収入増に向けた営業内容の改善が適宜行われている。
③事業を継続するための必要最低限の収支、財務状況を維持しているか（純損益が±ゼロ以上の状態となっているか）	A		適正な財務状況となっている。
④今後の方向性に関するコメント、克服すべき課題	アフターコロナにおいて、観光地域づくり法人としての役割が一層期待されることから、その役割を果たすための人員確保を強化し、地域に活力をもたらす取り組み内容の充実に向けた検討を、行政と連携し継続して進める必要がある。		

３　その他特記事項

・新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けつつも、国や北海道による観光需要の拡大政策等が追い風となり、施設来場者数や売上など昨年を大きく上回る状況となっている。
また、経営努力により５期連続で単年度黒字を計上しており、アフターコロナにおける更なる集客も期待されることから、経営状況に問題なしと評価する。

令和５年　６月２２日

上士幌町長　　竹　中　　貢

株式会社ｋａｒｃｈ
第５期定時株主総会

第５期　2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

1）事業報告
2）事業収益・資産状況
3）取締役及び監査役、株式の状況について
4）事業内容について
5）2023 年度事業計画について

karch

株式会社 karch

経営理念

「価値の共創」

株式会社 karch は、今地域にあるものを活かし
地域とともに新たな価値(もの)を共に考え創造していきます。
私たちは地域商社として、地域がより美しく、住みやすく、
楽しくなるよう、率先してまちづくりを行い、
稼ぐ仕組みを築いていきます。

行動指針

創造　日々、地域の人と共に考え、新たな価値を創造し、できる理由を探求していきます。

挑戦　課題解決型商社として、地域にこれまでなかったビジネスにも積極的に挑戦していきます。

笑顔　常に笑顔でのサービス、コミュニケーションを心がけ、社員、地域に関わる人すべてにおいて笑顔で暮らせるよう努めます。

感謝　地域に支えられていることを自覚し、感謝の気持ちを常に持ち、誰かのためにできることを日々考えるよう努めます。

愛着　地域に広く支持され、愛される会社を目指します。

karch

1）事業報告

2022 年度は新型コロナの感染拡大が収まらない中でのスタートでしたが、ワクチン接種率の向上による重症化率の低下になどにより国民の外出志向が高まるとともに、国や都道府県による観光需要の拡大施策や新道の駅おとふけの開業による道央方面からの入込増も相まって、観光客の動きが活発化する傾向となったところです。

ナイタイテラスの運営は 4 年目を迎えました。2 年目と 3 年目はコロナ禍の影響により入込客数、売上高ともに開業年（2019 年）を大きく下まわりましたが、今年度は、全国的な観光客の増加傾向に伴い、入込・売上共に昨年を大きく上回る状況（入込 24%増・売上 39.6%増）となりました。

道の駅かみしほろについては、北海道じゃらん道の駅ランキングで 2021 年に 1 位、2022 年に 3 位、2023 年は 4 位を獲得するなど、利用者からの評価も高く、認知度の向上とともに利用者数の増加につながっています。

特に、今年度はコロナ禍で実施できなかったイベントを積極的に実施したことで、利用者の増加に加え、地元町民が道の駅を訪れるきっかけづくりになったところです。

また、今年度よりタウシュベツ川橋梁に至る林道ゲートのカギの貸出業務を受託し、鍵の貸出に併せて観光案内やニーズ調査などを行い、道の駅の重要な役割である観光客に対するゲートウェイ機能の充実を図りました。

入込につきましては、12 月を除く各月が前年を上回り、前年比 83,138 人、20.9%の増加となりました。売上につきましては、システムやメニューを変更したレストランが伸ばしたほか、入込増に比例してショップは前年を大きく上回りましたが、他のセクションはテナント店舗を中心に前年を下まわり、全体では前年比 2.5%の増加にとどまっています。

電力小売事業については、引き続き上士幌町が目指す SDGs のまちづくりの一端を担ってまいりました。特に認知度を高めるために、イベントなどの際に窓口を設けるとともに、説明会の実施などにより、契約件数の増加を目指してまいりました。

DMO 事業につきましては、実働部隊である KAMISHIHORO.net の部会を中心に観光振興に向けた様々な議論を展開してきたところです。

2）事業収益・資産状況

※税抜き（円）

科目	今期決算額	前期決算額	前年比
売上高	300,271,647	313,529,337	95.8%
電力売上	222,456,117	176,928,054	125.7%
純売上高	522,727,764	490,457,391	106.6%
営業利益	16,158,284	8,596,794	188.0%
経常利益	17,102,211	13,747,628	124.4%
当期純利益	12,287,411	10,001,228	122.9%
純資産	71,688,888	59,401,477	120.7%

2022 年度の売上高は 522,727,764 円となり、前年比 106.6%となりました。売上の内訳は、道の駅かみしほろ 233,077,253 円(前年比 99.4%)、ナイタイテラス 67,007,121 円(前年比 130.3%)、かみしほろ電力 222,643,390 円(前年比 125.8%)となりました。

道の駅かみしほろに関わる事業収支としては、1,253,916 円の営業利益となっています。昨年度の営業損失（△758,975 円）から営業利益に転換できた理由としては、レストラン部門の収支改善やショップ部門の売上増が貢献しています。

ナイタイテラスは 1,538,731 円の営業利益となりました。冬季休業期間の人件費も営業期間中に稼ぐ事業運営をコロナ禍においても達成できています。

かみしほろ電力については、売上高が前年比 125.7%となりました。営業利益は前年比で 127.7%となっています。供給開始から 4 年が経過し、全国的には新電力の撤退が相次いでいますが、周知強化により更なる契約件数の増加を目指せる事業といえます。

3）取締役及び監査役、株式の状況について

代表取締役　千　葉　与四郎　　監査役　高　橋　昭　博
取締役　杉　原　祐　二　　監査役　遠　藤　壮　介
取締役　小　寺　友　之　　監査役　秋　吉　郁　尚

2023 年 3 月末現在の資本金　8,400,000 円

株式の総数（会社発行可能株式の総数 1,000 株）

発行済株式の総数　168 株

上士幌町　100 株／株式会社北海道宝島旅行社　20 株／北海道瓦斯株式会社　20 株

十勝毎日新聞社　20 株／帯広信用金庫　4 株／十勝信用組合　4 株

4）事業内容について

道の駅については、3 年目の営業となり、入込客数については、481,403 人と初年度（442,565 人）を上回り、コロナ禍による減少傾向から増加に転じたところです。

全体の売上高については、レストラン及びショップは増加したものの、テナント部門の売上げが減少したことにより、微増（2.5%増）となっています。

運営面については、レストランとテイクアウト（UC-STAND）の収支改善策として、人員の削減とメニュー変更に着手しました。具体的にはレストランをこれまでのコース料理からプレートメニューに変更し、価格を抑えるとともに、回転率の向上を図りました。また、車中泊等をターゲットにしたモーニング（8 時～10 時）を開始し、新たな客層の拡大を目指しました。春から秋にかけてはキャンピングカーの利用者を中心に一定の客数を確保しましたが、冬季間は利用者が大きく減少しており、町民の利用やホテル等と連携した利用客の確保を図る必要があります。

3 月からスタートしたプレートメニュー

4 月からスタートしたモーニングのメニュー

誘客イベントについては、前年はコロナ禍によりほとんどが未実施となりましたが、本年はＪＡ上士幌町による消費拡大運動（4/30-5/1）を皮切りに、母の日フェア（4/29-5/8)、ワークショップ・アロマクラフト（5/21)、青空フリーマーケット（5/29)、道の駅２周年記念イベント「道の駅ピクニック」(6/11-12)、十勝キャンプフォトコンテスト（7/1-9/30)、夏休みグルメマーケット（7/30-31)、夕涼みビアガーデン（8/4-6・8/25-27)、秋のやさい市（9/17・10/15-16)、ウィンターバルーンミーティングのイベント部門（2/11-12)、春のドローンショー2023（3/4-3/5※実行委員会として karch 参画）など、多彩な催しを行い、道の駅への誘客とともに、町民にとっても身近な道の駅となるよう努めてきました。また、上士幌町（道の駅）を広く PR するため、札幌市（ロフト・ポールスター・パルコ）において、「上士幌フェア」を開催したほか、テレビ番組への取材協力や観光関連雑誌、Web 等への掲載による広告・宣伝を行いました。

レストランについては、売上が前年比 132.6%（税込 7,043 千円増)、人件費は前年比 65%に抑えることができ、収支改善を図ることができましたが、黒字化には至っていません。更なる収支改善に向けては、看板メニュー作りをはじめ、コロナ禍で控えていたパーティープランの宣伝強化やテイクアウト弁当、季節ごとのイベントプランの実施など、様々な仕掛けを行うことで一層の売上増を目指します。

<2023 年 4 月 6 日にオープンしたハンバーガーショップ tobachi>

テイクアウト（UC -STAND）については、前年までの牛丼やカレーなどの主食メニューから、単価を抑えたホットドックやフライドチキンなど、より気軽なスナック

感覚のメニューに変更し、セクションの抜本的な改革を実施しました。結果として人件費の圧縮（前年比 77.0%）には至ったものの、売上が前年を下回り（93.3%）、大幅な収支改善を図ることができませんでした。今年度は人的コストの削減、及び専門性の高いメニューの提供を目指し、テイクアウト部門を運営委託することとし、4 月 6 日よりハンバーガーショップ「tobachi」をオープンいたしました。

ショップについては、これまでのオリジナル商品に加え、お好み焼き粉、たこ焼き粉、かりんとう、小麦を使った甘酒、ビールの新商品づくりなどを進めるとともに、上士幌高校との協働による商品開発を進めてきました。道の駅でのオリジナル商品の購入割合も増え、ショップでの売上は前年比 123.8%（税込 17,807 千円増）となりました。オンラインショップや町外の観光施設での卸販売取引の拡大も要因となっています。

道の駅事務所については、ふるさと納税の返礼品発送業務が前年比 64.3%（税抜 38,432 千円減）と大幅に減少いたしました。前年はコロナ禍による巣ごもり需要があったことも減少要因のひとつとして挙げられますが、人気の返礼品である乳製品は、十勝管内の多くの自治体が取り扱っており、競争力が増していることも原因と思われます。今後とも返礼品の魅力アップを図るとともに、オリジナル商品との組み合わせにより、取扱件数の拡大とショップの売上増を目指します。

インフォメーションでは、ぬかびら源泉郷スキー場の前売りリフト券の販売や宿泊先の案内、レンタサイクル貸出などサービス強化に努めました。また、今年度より、タウシュベツ川橋梁までの林道の鍵の貸出業務を受託し、鍵の貸出と合わせて観光情報の提供や利用者からの聞き取りによるニーズ調査と現地の状況などの把握に努め、道の駅の役割であるゲートウェイ機能の充実を図りました。

（取扱件数 1,475 件/利用者数 2,629 人）

観光地域づくり法人（DMO）については、町内の主要企業・団体をはじめ、町外の観光関連事業所による「上士幌町観光地域づくりネットワーク協議会」通称

KAMISHIHORO.net の実働部隊となる３部会（マーケティング部会・企画誘客戦略部会・SDGs 人材育成部会）を中心に観光地域づくりを進めてきました。観光情報サイト「KAMISHIHORO.NAVI」を開設し、町内の観光情報をアップするとともに最新の情報へ更新しています。更に、観光動画については動画素材の収集および作成を進め、様々な角度からアドバイスや意見交換を行い、前述の「KAMISHIHORO.NAVI」と合わせてコンテンツの充実と魅力アップを図り、より宣伝効果の高いものに仕上げることとしています。また、地域ガイド養成の先進地である伊達市及び黒松内町への視察研修を行いました。今後も部会の活動を活発化させ、具体的な事業実施に向けた取り組みを進めていきます。

また、昨年に引き続きドローンによる配送実証実験を行い、配送拠点からのルート設定を改めて調整し、ナイタイテラスまでの配送実用化に向けた検証を進めたところです。

二周年事業として開催されたグルメマーケット

ドローンによるデリバリー実証実験の様子

ナイタイテラスは、入込客数が 126,709 人と前年比 124%（83,138 人増）となりました。売上についても前年比 139.6%（19,871 千円増）となり、入込、売上ともに大きく増加したところです。コロナ禍においても入込数の大幅な増加を果せたことは、ナイタイ高原牧場自体の潜在的な魅力に加え、利用者の SNS による発信なども大きく影響していると思われます。徐々に団体バスの利用台数も増加しており、団体旅行の回復が期待できることから、更なるサービスアップを目指し、町を代表する観光スポットとして満足度を高める営業を行います。

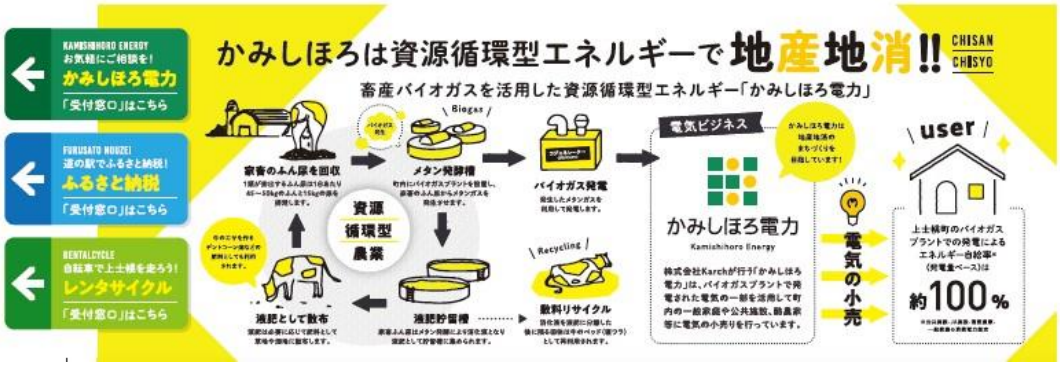
また、ナイタイ高原牧場を活用したドローンによる配送実証実験のほか、トレーラーハウスやテントを用いた占有性の高い宿泊プランの実証実験を行い、ナイタイ高原を活用した新たな配送サービスの可能性とともに、新たな体験観光の実用化の可能性を高めることとなりました。来期は、引き続き北海道を代表する景勝地としてナイタイ高原の魅力を積極的に発信し、入込増と経営の安定に繋げてまいります。

ナイタイテラスのメニュー

十勝平野を一望できるナイタイテラス

かみしほろ電力につきましては、売上高は前年比 25.7%増の 222,456,117 円となりました。新規契約数は 22 件獲得し、契約件数は 423 件となっています。今後も町と連携しながら、転入時にかみしほろ電力の案内をいただくなど、より多くの町民に利用していただけるよう契約件数の拡大を進めていきます。

地産地消のエネルギーをご利用いただき、SDGs のまちづくりに取り組む上士幌町を発信していきます。



＜2022 年度かみしほろ電力　利用状況＞

契約状況　　（件）

顧客区分	2022/3	2023/3	増減
町・JA施設	180	176	△4
農　家	93	87	△6
一般家庭	96	114	18
事業所	42	46	4
合　計	411	423	12

5）2023 年度事業計画について

2023 年度の各事業については､道の駅かみしほろは年間入込 53 万人(前年比 110%)を目指し、売上高 2 億 4,012 万円 8 千円（前年実績比 103%）を目標とします。

ナイタイテラスは年間入込 14 万人（前年比 110%）を想定し、売上高 7,687 万円（前年実績比 115%）を目標とします。かみしほろ電力は新規契約件数 50 件を想定し、売上高 2 億 2,693 万 5 千円（前年実績比 102%）を目標とします。総売上高は 5 億 4,393 万 3 千円（前年実績比 104%）を目指します。

部門別売上高	金　額（税抜）
道の駅事務所	83,500,000
道の駅ショップ	84,065,000
道の駅テイクアウト	16,200,000
道の駅レストラン	33,962,000
道の駅施設管理	22,401,000
ナイタイテラス	76,870,000
かみしほろ電力	226,935,000
合　計	543,933,000
売上総利益	194,656,000
販管費	177,094,000
営業利益	17,562,000

道の駅かみしほろの運営については、通年楽しめる道の駅を目指し、誘客を図ります。具体的には、オリジナル商品の開発、季節ごとに楽しめる独自イベントのほか、北海道バルーンフェスティバルをはじめとする既存イベントとの連携や道の駅エリアへのイベント誘致など、町内外の方々の目的地となる場所を目指し、利用促進を図ります。また、近隣にある音更町・士幌町・鹿追町の各道の駅と連携・協力した誘客も検討していきます。

5 期目となるナイタイテラスについては、北海道を代表する景勝地であるナイタイ高原牧場の魅力を発信し、誘客に努めるとともに、魅力あるメニュー作りとサービスの向上に取り組んでいきます。また、道内外の観光関連施設に営業を行い、情報発信

を戦略的に行っていきます。これまで検証してきたナイタイ高原牧場でのグランピングなど、宿泊を伴う商品の販売について実現を目指します。

各施設ともに、今年度は体験商品造成・土産品と飲食メニューの連携・施設間の動線づくり等を用いて、消費単価の底上げを図り、目標達成を実現します。

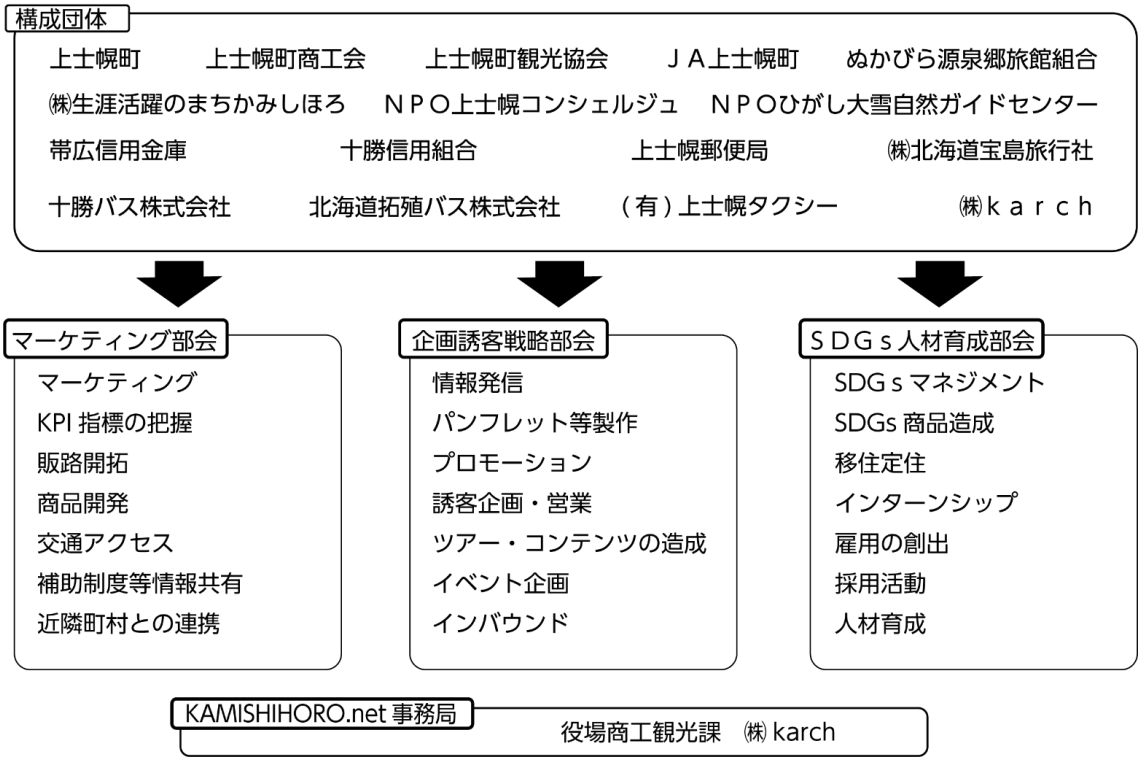
電力事業については、引き続き新規契約の拡大を目指すとともに、町の政策である脱炭素社会の実現に貢献するため、エネルギーの地産地消を推進していきます。

観光地域づくり法人（DMO）の取り組みとして、KAMISHIHORO.net の運営を通じて、町内の各団体や関係者と連携し、町全体の誘客に向けた企画提案と事業を実施していきます。具体的には、実働部隊である各部会で議論し事業を進めます。

また、魅力ある観光資源の有効活用と冬季間の収益事業として、今年度より開始した冬のワカサギ釣りツアーの商品磨き上げを行い、事業の拡大を目指すほか、体験型観光ツアーの実施や地域ツアーガイドの養成等にも注力し、地域資源と先進性を掛け合わせた観光地域づくりを行っていきます。

2023 年は、これらの事業を実施しながら町民との関わりを一層深め、地域に愛され、応援いただける地域商社を目指してまいります。

KAMISHIHORO.net 組織図



第　5　期

決　算　報　告　書

令和　4年　4月　1日から

令和　5年　3月 31日まで

◁

株　式　会　社　　k　a　r　c　h

（法人番号：3460101006384）

TKC

Y28579

株式会社　karch

貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

代表者 千葉　与四郎

(単位：円)

科目	前期額	構成比	決算額	構成比
（資産の部）				
Ⅰ 流動資産	(146,460,844)	(96.1)	(155,973,682)	(97.2)
現金及び預金	67,253,062	44.1	87,343,204	54.4
売掛金	16,001,950	10.5	6,846,350	4.3
棚卸資産	13,090,863	8.6	16,017,638	10.0
前払費用	1,614,944	1.1	1,045,566	0.7
未収入金	48,420,400	31.8	44,499,454	27.7
立替金	715,938	0.5	726,800	0.5
貸倒引当金	△ 636,313	0.4	△ 505,330	0.3
Ⅱ 固定資産	(5,918,800)	(3.9)	(4,502,735)	(2.8)
有形固定資産	(2,730,543)	(1.8)	(1,981,958)	(1.2)
機械及び装置	282,792	0.2	201,914	0.1
工具、器具及び備品	2,447,751	1.6	1,780,044	1.1
無形固定資産	(1,663,257)	(1.1)	(1,126,777)	(0.7)
ソフトウェア	1,663,257	1.1	1,126,777	0.7
投資その他の資産	(1,525,000)	(1.0)	(1,394,000)	(0.9)
出資金	10,000	0.0	10,000	0.0
敷金	1,515,000	1.0	1,384,000	0.9
Ⅲ 繰延資産	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
資産の部合計	152,379,644	100.0	160,476,417	100.0

TKC

Y28579

(単位：円)

科目	前期額	構成比	決算額	構成比
（負債の部）				
Ⅰ 流動負債	(56,772,167)	(37.3)	(57,597,529)	(35.9)
1年以内返済長期借入金	5,290,000	3.5	5,016,000	3.1
未払金	42,293,505	27.8	43,598,347	27.2
未払法人税等	2,669,000	1.8	2,942,100	1.8
未払消費税等	2,790,500	1.8	2,410,400	1.5
預り金	208,090	0.1	240,302	0.1
売上預り金	1,903,472	1.2	1,772,780	1.1
敷金預り金	1,617,600	1.1	1,617,600	1.0
Ⅱ 固定負債	(36,206,000)	(23.8)	(31,190,000)	(19.4)
長期借入金	36,206,000	23.8	31,190,000	19.4
負債の部合計	92,978,167	61.0	88,787,529	55.3
（純資産の部）				
Ⅰ 株主資本	(59,401,477)	(39.0)	(71,688,888)	(44.7)
1. 資本金	8,400,000	5.5	8,400,000	5.2
2. 資本剰余金	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
3. 利益剰余金	(51,001,477)	(33.5)	(63,288,888)	(39.4)
(1)その他利益剰余金	(51,001,477)	(33.5)	(63,288,888)	(39.4)
繰越利益剰余金	51,001,477	33.5	63,288,888	39.4
Ⅱ 評価・換算差額等	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
Ⅲ 新株予約権	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
純資産の部合計	59,401,477	39.0	71,688,888	44.7
負債・純資産の部合計	152,379,644	100.0	160,476,417	100.0

TKC
Y28579

株式会社　karch

損益計算書

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで

（単位：円）

科目	前期額	構成比	決算額	構成比
Ⅰ 売上高	(490,457,391)	(100.0)	(522,727,764)	(100.0)
売上高	312,987,428	63.8	297,396,166	56.9
イベント売上高	541,909	0.1	2,875,481	0.6
電力売上高	176,928,054	36.1	222,456,117	42.6
Ⅱ 売上原価	(303,438,637)	(61.9)	(336,162,953)	(64.3)
期首棚卸高	8,752,642	1.8	9,442,652	1.8
商品仕入高	145,772,706	29.7	134,478,947	25.7
イベント仕入高	256,511	0.1	587,550	0.1
電力仕入高	158,099,430	32.2	202,694,216	38.8
合計	312,881,289	63.8	347,203,365	66.4
期末棚卸高	9,442,652	1.9	11,040,412	2.1
売上総利益	187,018,754	38.1	186,564,811	35.7
Ⅲ 販売費及び一般管理費	(178,421,960)	(36.4)	(170,406,527)	(32.6)
販売費及び一般管理費	178,421,960	36.4	170,406,527	32.6
営業利益	8,596,794	1.8	16,158,284	3.1
Ⅳ 営業外収益	(5,945,675)	(1.2)	(1,569,884)	(0.3)
受取利息	879	0.0	986	0.0
貸倒引当金戻入	218,857	0.0	636,313	0.1
受取配当金	300	0.0	300	0.0
雑収入	5,725,639	1.2	932,285	0.2
Ⅴ 営業外費用	(794,841)	(0.2)	(625,957)	(0.1)
支払利息	23,638	0.0	686	0.0
貸倒引当金繰入	636,313	0.1	505,330	0.1
雑損失	134,890	0.0	119,941	0.0
経常利益	13,747,628	2.8	17,102,211	3.3
Ⅵ 特別利益	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
Ⅶ 特別損失	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
税引前当期純利益	13,747,628	2.8	17,102,211	3.3
法人税、住民税及び事業税	3,746,400	0.8	4,814,800	0.9
当期純利益	10,001,228	2.0	12,287,411	2.4

TKC
Y28579

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科目	前期額	売上高比率	決算額	売上高比率
販売員給与	65,590,041	13.4	57,444,559	11.0
退職金	115,000	0.0	348,500	0.1
旅費交通費	1,535,028	0.3	1,349,526	0.3
広告宣伝費	5,544,582	1.1	4,447,086	0.9
荷造運賃	1,816,456	0.4	1,657,322	0.3
車両費	722,437	0.1	826,288	0.2
その他の販売費	2,440,547	0.5	3,520,336	0.7
諸会費	111,010	0.0	359,860	0.1
役員報酬	2,400,000	0.5	2,400,000	0.5
賃借料	80,545	0.0	40,000	0.0
事務員給与	15,494,322	3.2	10,296,973	2.0
従業員賞与	2,062,000	0.4	6,282,800	1.2
法定福利費	11,331,855	2.3	10,635,744	2.0
厚生費	349,039	0.1	335,788	0.1
会議費	209,993	0.0	302,667	0.1
減価償却費	1,317,636	0.3	1,285,065	0.2
リース料	1,826,548	0.4	2,013,508	0.4
地代家賃	6,066,036	1.2	5,565,872	1.1
修繕費	548,628	0.1	592,340	0.1
事務用消耗品費	591,701	0.1	649,630	0.1
通信交通費	740,294	0.2	547,041	0.1
水道光熱費	11,154,699	2.3	13,885,458	2.7
租税公課	169,592	0.0	223,908	0.0
接待交際費	15,900	0.0	94,861	0.0
保険料	889,807	0.2	1,011,144	0.2
備品消耗品費	9,778,693	2.0	11,092,721	2.1
管理諸費	1,474,800	0.3	2,022,300	0.4
業務委託費	25,972,623	5.3	23,322,352	4.5
支払手数料	7,929,138	1.6	7,749,081	1.5
雑費	143,010	0.0	103,797	0.0
合計	178,421,960	36.4	170,406,527	32.6

棚卸資産の計算内訳

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

科目	前期額	売上高比率	決算額	売上高比率
商品	9,442,652	1.9	11,040,412	2.1
貯蔵品	3,648,211	0.7	4,977,226	1.0
合計	13,090,863	2.7	16,017,638	3.1

TKC
Y28579

株式会社　karch

株主資本等変動計算書

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで

	前期額（円）	決算額（円）
Ⅰ 株主資本		
1. 資本金		
当期首残高	8,400,000	8,400,000
当期変動額	0	0
当期末残高	8,400,000	8,400,000
2. 利益剰余金		
(1)その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	41,000,249	51,001,477
当期変動額		
当期純利益	10,001,228	12,287,411
当期末残高	51,001,477	63,288,888
その他利益剰余金合計		
当期首残高	41,000,249	51,001,477
当期変動額		
当期純利益	10,001,228	12,287,411
当期末残高	51,001,477	63,288,888
株主資本合計		
当期首残高	49,400,249	59,401,477
当期変動額		
当期純利益	10,001,228	12,287,411
当期末残高	59,401,477	71,688,888
Ⅱ 評価・換算差額等		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	0	0
Ⅲ 新株予約権		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	0	0
純資産の部合計		
当期首残高	49,400,249	59,401,477
当期変動額		
当期純利益	10,001,228	12,287,411
当期末残高	59,401,477	71,688,888

TKC
Y28579

株式会社　ｋａｒｃｈ

個　別　注　記　表

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで

Ⅰ．この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

Ⅱ．重要な会計方針に係る事項に関する注記

１．棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用しております。

２．固定資産の減価償却方法
(1)有形固定資産
定率法又は旧定率法を採用しております。
ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。
なお、平成15年4月1日以後に取得した取得価額30万円未満の資産については、取得時に費用処理しております。
(2)無形固定資産
定額法又は旧定額法を採用しております。

３．引当金の計上基準
(1)貸倒引当金
債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。

４．消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

Ⅲ．貸借対照表等に関する注記

１．有形固定資産の減価償却累計額　1,653,674円

Ⅳ．株主資本等変動計算書に関する注記

１．発行済株式総数　168株

Ⅴ．一株当たり情報に関する注記

１．一株当たり純資産額は、426,719.57円であります。

２．一株当たり当期純利益は、73,139.35円であります。

以　上

TKC
Y28579

監 査 報 告 書

私たち監査役は、2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの第 5 期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその付属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

一　事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。

二　取締役の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書の監査結果

計算書類及びその付属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2023 年　5　月 15 日

株式会社ｋａｒｃｈ

監査役　秋吉 郁尚

監査役　遠藤 壮介

監査役　高橋 服梅

株式会社 karch 第 5 期定時株主総会　議案書

議案第 1 号　　監査役 2 名選任の件

監査役である遠藤壮介並びに秋吉郁尚より退任の申し出があったため、監査役 2 名の選任をお願いするものです。

監査役候補者は、次のとおりです。

候補者番号	氏　名（生年月日）	略　歴
1	川元亮太（かわもりょうた） （昭和 57 年 7 月 5 日生）	2007 年 7 月～2023 年 3 月 帯広信用金庫　入庫 本店渉外　次長代理 中央支店　次長代理 中央支店　渉外次長
		2023 年 4 月～現在 上士幌支店支店長

候補者番号	氏　名（生年月日）	略　歴
2	中橋功太（なかはしこうた） （昭和 58 年 8 月 1 日生）	2006 年 4 月～2023 年 3 月 十勝信用組合　入組 本店　副長
		2023 年 4 月～現在 上士幌支店支店長

注 1．監査役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。

株式会社　karch

3 期 比 較 財 務 諸 表

(単位：千円、千円未満切り捨て)

項目		2年 4月から 3年 3月まで	構成比	3年 4月から 4年 3月まで (A)	構成比	4年 4月から 5年 3月まで (B)	構成比	対比 (B／A)	黒字企業平均 令和 4年版	構成比
貸借対照表	流動資産	139,547	97.1	146,460	96.1	155,973	97.2	106.5	125,895	51.1
	当座資産	103,056	71.7	82,618	54.2	93,684	58.4	113.4	85,297	34.6
	(現金預金)	100,792	70.1	67,253	44.1	87,343	54.4	129.9	72,543	29.4
	(売上債権)	2,263	1.6	15,365	10.1	6,341	4.0	41.3	12,586	5.1
	棚卸資産	10,171	7.1	13,090	8.6	16,017	10.0	122.4	31,596	12.8
	その他流動資産	26,319	18.3	50,751	33.3	46,271	28.8	91.2	9,002	3.7
	固定資産	4,154	2.9	5,918	3.9	4,502	2.8	76.1	120,262	48.8
	有形固定資産	396	0.3	2,730	1.8	1,981	1.2	72.6	86,611	35.2
	無形固定資産・投資	3,758	2.6	3,188	2.1	2,520	1.6	79.1	33,651	13.7
	繰延資産	0	0.0	0	0.0	0	0.0		213	0.1
	総資産	143,701	100.0	152,379	100.0	160,476	100.0	105.3	246,372	100.0
	流動負債	52,805	36.7	56,772	37.3	57,597	35.9	101.5	59,424	24.1
	(買入債務)	0	0.0	0	0.0	0	0.0		22,619	9.2
	(短期借入金)	6,684	4.7	5,290	3.5	5,016	3.1	94.8	15,512	6.3
	(割引手形等)	0	0.0	0	0.0	0	0.0		0	0.0
	固定負債	41,496	28.9	36,206	23.8	31,190	19.4	86.1	75,918	30.8
	(長期借入金等)	41,496	28.9	36,206	23.8	31,190	19.4	86.1	63,721	25.9
	純資産	49,400	34.4	59,401	39.0	71,688	44.7	120.7	111,029	45.1
	株主資本	49,400	34.4	59,401	39.0	71,688	44.7	120.7	111,029	45.1
	評価差額等・新株予約権	0	0.0	0	0.0	0	0.0		0	0.0
損益計算書	純売上高	374,415	100.0	490,457	100.0	522,727	100.0	106.6	692,927	100.0
	売上原価	206,932	55.3	303,438	61.9	336,162	64.3	110.8	479,530	69.2
	売上総利益	167,482	44.7	187,018	38.1	186,564	35.7	99.8	213,396	30.8
	販売費・一般管理費	165,401	44.2	178,421	36.4	170,406	32.6	95.5	206,125	29.7
	販売費	80,452	21.5	77,875	15.9	69,953	13.4	89.8	99,052	14.3
	一般管理費	84,948	22.7	100,546	20.5	100,453	19.2	99.9	107,073	15.5
	(役員報酬)	2,104	0.6	2,480	0.5	2,440	0.5	98.4	19,724	2.8
	(役員外販管人件費)	90,255	24.1	95,152	19.4	85,647	16.4	90.0	83,161	12.0
	(減価償却費Ⓐ)	570	0.2	1,317	0.3	1,285	0.2	97.5	5,443	0.8
	営業利益	2,081	0.6	8,596	1.8	16,158	3.1	188.0	7,271	1.0
	営業外収益	11,655	3.1	5,945	1.2	1,569	0.3	26.4	10,392	1.5
	(受取利息・配当金)	1	0.0	1	0.0	1	0.0	109.1	52	0.0
	営業外費用	347	0.1	794	0.2	625	0.1	78.8	2,328	0.3
	(支払利息割引料)	56	0.0	23	0.0	0	0.0	2.9	857	0.1
	経常利益	13,389	3.6	13,747	2.8	17,102	3.3	124.4	15,334	2.2
	特別損益	0	0.0	0	0.0	0	0.0		193	0.0
	税引前当期純利益	13,389	3.6	13,747	2.8	17,102	3.3	124.4	15,527	2.2
	(減価償却費計Ⓐ+Ⓑ)	570	0.2	1,317	0.3	1,285	0.2	97.5	5,632	0.8
売上原価内訳書	売上原価	206,932	55.3	303,438	61.9	336,162	64.3	110.8	479,530	69.2
	商品売上原価	206,932	55.3	303,438	61.9	336,162	64.3	110.8	476,425	68.8
	製品売上原価	0	0.0	0	0.0	0	0.0		3,104	0.4
	材料費	0	0.0	0	0.0	0	0.0		2,722	0.4
	労務費	0	0.0	0	0.0	0	0.0		467	0.1
	外注加工費	0	0.0	0	0.0	0	0.0		1,026	0.1
	減価償却費Ⓑ	0	0.0	0	0.0	0	0.0		189	0.0
	その他の経費	0	0.0	0	0.0	0	0.0		565	0.1
	(△)棚卸高増減	0	0.0	0	0.0	0	0.0		1,866	0.3
付加価値計算書	純売上高	374,415	223.6	490,457	262.3	522,727	280.2	106.6	692,927	324.1
	商品売上原価	206,932	123.6	303,438	162.3	336,162	180.2	110.8	476,425	222.8
	材料費	0	0.0	0	0.0	0	0.0		1,688	0.8
	外注加工費	0	0.0	0	0.0	0	0.0		994	0.5
	工場消耗品費	0	0.0	0	0.0	0	0.0		0	0.0
	加工高(粗利益)	167,482	100.0	187,018	100.0	186,564	100.0	99.8	213,818	100.0
	加工高(粗利益)比率(%)	44.7		38.1		35.7		93.7	30.9	
	加工高労働生産性	3,582		4,250		4,288		100.9	5,562	
	人件費	92,359	55.1	97,632	52.2	88,087	47.2	90.2	102,886	48.1
	労務費	0	0.0	0	0.0	0	0.0		0	0.0
	給料手当	80,880	48.3	85,951	46.0	77,115	41.3	89.7	92,336	43.2
	福利厚生費	11,478	6.9	11,680	6.2	10,971	5.9	93.9	10,549	4.9

(注)「黒字企業平均」の数値は、「TKC経営指標(令和　4年版)」における同業黒字企業　47件の平均値です。
また、その分類水準は、細 分類で、参照業種名は、各種食料品小売業　(5811)です。
なお、分類水準が中分類の場合は、近接の異業種を含んだ数値となっています。

TKC
Y28579